

学校教育目標 <元気あふれる学校> 夢に向かって笑顔で学び合う子どもの育成

<元気あふれる学校>は、金泉中・金立小・久保泉小統一の「雄飛学園」の目標です!!



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

学校だより 第22号

令和6年11月12日

文責：校長 中村 佳代

*** えひめあやめ植栽体験(4年) ***

10月30日(水)に、4年生の子どもたちが、帯隈山にて「えひめあやめ」の植栽を体験させていただきました。久保泉地域の豊かな自然の中で、大切に守られている「えひめあやめ」の小さな苗を一人2株ずつ植えていきました。3~4年後には小さな紫色の花を咲かせるのだそうです。「えひめあやめ」について、学習している子どもたちは、とても楽しみにしている様子でした。えひめあやめ保存会の齊藤会長様やまちづくり協議会の山口会長様はじめ、地域のたくさんの方のみなさま、保護者や御家族のみなさまにも御協力いただきました。穴の深さや土のかぶせ方、これからのお世話の仕方についても教えていただき、とても貴重な体験をした子どもたちでした。ありがとうございました。



*** 「教育実習」が始まりました!! ***

11月7日(木)から、教育実習が始まりました。西九州大学から、3年の高倉愛弥先生が、本校にお見えです。6年生の学級を中心に、教育実習に励まれています。



います。大学生活では学ぶことのできない、実際の学校現場での子どもたちの様子を身近に感じ、たくさんのことを吸収され、大きく成長されることだろうと楽しみにしています。

12月6日(金)までの約1か月間ですが、6年生の子どもたちはもちろんのこと、全校の子どもたちと触れ合うことを通して、充実した時間を過ごしてほしいと思っています。高倉愛弥先生、頑張ってくださいね。

11/7~12/6の約1か月間、教育実習をさせていただくことになりました、西九州大学から来ました、高倉愛弥です。主に、6年生の学級でお世話になりますが、休み時間で遊んだり話したりして、全学年の子どもたちと関わりたいと思っています。たくさん子どもたちとコミュニケーションをとり、自分の成長とともに、子どもたちの成長に少しでも関わりたいと思っています。約1か月間という短い期間ですが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

*** 久保泉町少年の主張大会 ***

11月9日(土)に、久保泉公民館にて、「久保泉町少年の主張大会」が開催されました。小学校からは、4・5・6年生の代表が2名ずつ参加し、自分が日頃から思っていることや考えていることを、自分の言葉で整理してまとめ、堂々と述べることで

できていました。たくさんの人の前で、自分の思いや考えを伝えることは、大人であってもなかなか容易なことではありません。ですが、6名の子どもたちは、一人一人が感じていることを、自分の言葉で訴えかけていました。見事な姿だったと思います。中学生は1年生2名と2年生1名で、演題はそれぞれ「地球温暖化」「ジェンダー平等」「書の道を歩む」でした。3名の主張も、聞きごたえのある内容でした。今回の経験を、これからの学習や生活でも、大いに生かしてほしいと思います。

- | | | |
|----|--------|-------------------|
| 4年 | 嘉村 伊織 | 「練習の先には」 |
| 4年 | 小松 あん | 「久保泉の町をきれいにするために」 |
| 5年 | 梅崎 心遥 | 「幸せって何だろう」 |
| 5年 | 千住 里衣紗 | 「夢への一歩」 |
| 6年 | 自見 敦成 | 「心の中ではいつでも会える」 |
| 6年 | 山崎 咲都希 | 「自信への第一歩」 |



これまでの体験をもとに、夢に向かって挑戦することや努力をすることの大切さが述べられた内容でした。(嘉村さん)

自分の町を見つめ、ごみ拾いの体験から感じたこと、これから取り組んでいきたいことが伝わってくる内容でした。(小松さん)

大切な祖父の死を経験し、当たり前の日常が、どれほど大切なものであるかを、改めて考えさせられる内容でした。(梅崎さん)

職場体験から学んだことをもとに、自分の夢に向かって、その一歩を踏み出そうとする姿が伝わってくる内容でした。(千住さん)



祖父の死を経験し、思い出を振り返りながら、一冊の本の内容にも触れ、大切な方の存在を改めて感じた内容でした。(自見さん)

自分の体験をもとに、一冊の本との出会いにも触れながら、自分自身を見つめ直していく過程が伝わる内容でした。(山崎さん)



審査の時間に、4年生の子どもたちが中心となり、「えひめあやめ」の歌を披露しました。

